



岩中だより

笠間市立岩間中学校 学校だより

合言葉：私たちの最上位目標は生徒の幸せ

2025.2.6（木）第29号

暦の上では春を迎えています

立春が過ぎ、暦の上では春を迎えています。ですが、天気予報を見ていると、一晩で120cmの雪が降ったとか、今期最強最長寒波などという話を耳にします。寒さ対策を万全にして、冬の寒さを乗り越えたいと思います。

以前、笠間市在住の方から七段飾りの寄贈があったことをお伝えしましたが、立春を迎えたタイミングで昇降口前多目的ホールに飾りました。昇降口がとても華やかな雰囲気になり、生徒は足を止め、七段飾りを優しく見つめています。



1/29（水）SNSの使い方を学びました



笠間警察署生活安全課長の信太孝弘様を講師に迎え（11月には「闇バイト加担防止講演会」の講師を務めてくださっています）、全校生徒を対象（3年生はオンライン）に、SNSの使い方講演会を行いました。SNSの不適切な使用については、社会的な問題になっています。信太さんは、SNSの危険性について、動画を活用しながら説明してくださいました。講演が終わった後、生徒の皆さんは、「今回の講演を聞いて、自分の個人情報絶対に送らないこと、自分や友達の写真を送らないことが大切であると分かりました。また送るつもりがなくても、無意識に送ってしまうことがあるので、SNSの使い方は十分気を付けることを、今回の講演で改めて思いました。」「私は、SNSの使い方講演会を聞いて、『撮らない、送らない、要求しない』の大切さが分かった。また、SNSでは、なりすましがあから、何でも信用して送信してはいけないことが分かった。」「SNSというのは、ぼくにとっては、とても便利で、実用的な生活アイテムでした。ですが、講演を聞いてからは、SNSを見る角度が180度一転し、便利な反面、とてもこわい、二重の面をもつものだと、改めて感じました。」などと振り返ることができました。交友関係を広げられたり、興味・関心があるトピックの情報収集に役立ったりするSNSですが、その裏に、危険性も潜んでいることを意識してほしいと思います。

1/31（金）新入生説明会を行いました

新入生の入学まで、あと2か月になりました。令和7年度の新入生は、今のところ105名を予定しています。令和7年度の岩間中学校は、生徒数が令和6年度より4名多い315名でスタートする予定です。この日の新入生説明会には、岩間第一・二・三小の6年生の皆さんと保護者の皆様に参加しました。体育館では、学校の担当者が学校概要や中学校での学習や生活の様子、部活動、諸会計などについて、保護者の皆様に説明をさせていただきました。その間、6年生の皆さんは、本校生徒会本部役員や学級委員の案内で各教室を回り、中学生が授業に取り組む様子を、興味深く見学していました。その後は、親子で部活動見学をする様子も見られました。新入生が安心して岩間中学校に入学・登校できるよう、私たちは、温かく迎える準備をして待っています。



学校運営協議会委員さんに岩間中学校の教育活動を評価していただきました

★評価 A：たいへんよい B：よい C：あまりよくない D：よくない

1 地域での生徒の様子について (A：33.3% B：66.7% C：0% D：0%)

- ・朝夕、散歩しているとき、登下校中の生徒と出会うことがあります。特定の生徒ですが、朝会う度に明るい笑顔で、「おはようございます」というあいさつをしてくれる女生徒がいます。私も笑顔で「あはようございます」とあいさつをします。その日はとても清々しい気持ちで過ごすことができます。きっと家庭での親のしつけがしっかりしているのだと思います。家庭・学校・地域が一体となってあいさつ運動を盛り上げていければと思います。
- ・登下校時行き会った際には、こちらから声をかけなくてもあいさつをしてくれます。
- ・中学生らしく、明るく元気に過ごしているように見受けられます。ただあいさつについてはどちらかというところからの声掛けに元気に返してきているようなので、子どもたちから地域の人に対して積極的にあいさつできるとよいと思います。
- ・小中学生からのあいさつなどは元気ですが、地元の高校生等に声をかけても返事がない時が多いと思われる。
- ・自転車の乗り方については交通ルールを守っている生徒が多いです。
- ・一部の生徒にヘルメット未着用、一時停止違反が見られます。
- ・下校中に車通りの少ない道路で、時々自転車の並進を見かけることがあります。 (一部抜粋)

2 本校の教育活動について (A：55.6% B：44.4% C：0% D：0%)

- ・学校全体の雰囲気がとてもよく、生徒がたいへん落ち着いていると感じます。先生方と生徒との人間関係、信頼関係が醸成されているからでしょう。
- ・先生方は生徒の自主性を大切に、のびのびと学校生活を送れるように努めておられると思います。
- ・時代の変化や子どもの多様化、先生方の人出不足など大変なことが多いと思いますが、一生懸命取り組んでくださり、ありがとうございます。
- ・学校での出来事や生徒の様子を家庭へ伝えるために、こまめに「岩中だより」を発行しており、積極的に情報発信に取り組んでいると感じています。 (一部抜粋)

3 学校評価アンケート(生徒、保護者)結果・学校行事・授業参観等の様子から気づいたことや感想

- ・学校へ行った際の生徒の様子を見ると、落ち着いて学校生活を送っていると感じます。特に、体育祭や合唱祭では、クラス一丸となって取り組もうとする姿が見られ、子どもたちが自主的に活動する環境ができていられると思われたいです。
- ・保護者からは「学力向上」に期待が寄せられていると感じます。一方、教職員は、「家庭学習の習慣化」が課題と感じているようです。学校と家庭がつながるところ、どうしていけばよいか課題でしょうか。
- ・No11と13、学校ではクロームブックを有効活用しているのに、家庭で有効活用しているのは半数になってしまうのですね。保護者からも、家ではクロームブックをあまり使っていないとのこと。これが悪いこととは思いませんが、アンケートの質問からは、学校としてはクロームブックをもっと家でも使ってほしいということなのですね。
- ・学校評価アンケートを分析し、考察し、改善案を考えているところが素晴らしいです。大事なことは、その改善案をどう具現化し、実践していくかだと思います。
- ・アンケートで、子育てについて悩みや不安を感じている保護者が増えているとのことなので、青少年育成岩間市民の会としても悩みや不安を解消するための手助けとなるような事業や情報提供をしていく必要があると感じました。 (一部抜粋)

4 その他の意見等

- ・コミュニティ・スクールを充実させていくために、地域の方々や関係団体との意見交換の場を設け、地域に何が求められているのか、地域で何ができるのかを話し合えないかと考えています。
- ・地域でコミュニティ・スクールを推進していくためには地域をいかに巻き込むかが大事なと思います。そのために他団体との連携を図ることが大切かと思っています。例えば、岩間地区民児協、子ども会、老人会、朗読の会、市民の会などです。
- ・コミュニティ・スクールとは何か。地域住民として、どんなことができるのかなどを知らせることが大切かと思っています。「ながら見守り支援」についてのチラシが回覧文書にありました。地域住民に活動について知ってもらおう一助になったと思います。どの小学校にも、「見守り支援隊」が発足したことは素晴らしいと思います。 (一部抜粋)



学校運営協議会委員の皆様、この一年、本校教育活動に多大なるお力添えをいただき、ありがとうございました。